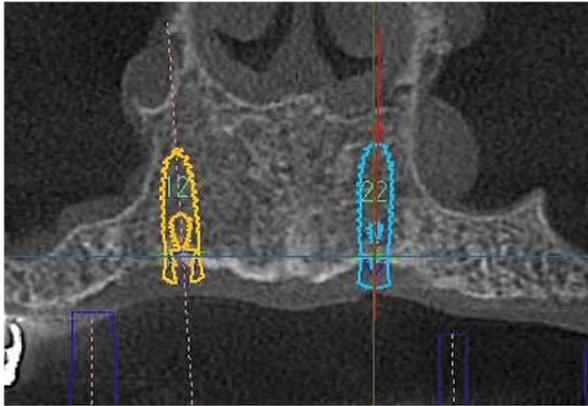


多角的なアプローチで低侵襲な治療 患者に合わせた口腔ケアに多くの信頼



(左上) 義歯安定のためのインプラント埋入とアタッチメント固定。(右上) 最新鋭の機器を揃えた診察室(同下) 治療に関する情報満載の待合室



天然歯のように美しいセラミック素材の歯(上顎部)



明るい笑顔のスタッフが丁寧に対応(第2待合室にて)



院長 加藤 清志

1988年北海道医療大学卒業後、同大歯科保存学第1講座(歯内・歯周治数学)入局。苫小牧市立総合病院で歯科口腔外科を研修。94年大町歯科加藤医院院長に就任。日本全身咬合学会認定医、日本顎咬合学会認定医、日本歯科東洋医学会認定医、理事、日本歯科先端技術研究所口腔インプラント認定医、日本口腔インプラント学会専門医、北海道警察歯科協力医会会員、苫小牧市内の各学校歯科医も務める。

インプラント治療に定評
今年で開院90年迎えた大町加藤歯科医院。豊富な知識と高い技術を持つ加藤清志院長は、最新機器を駆使した確かな診断と低侵襲な治療により、市内のみならず遠来の患者からも高い信頼を得ている。新たにホルマリンガス殺菌器も導入、治療器具に高い滅菌レベルの処理を行うなど、歯科外来診療環境体制の施設基準に則した環境も整備している。
(公社)日本口腔インプラント学会専門医の加藤院長は、人工歯根を埋入する手術で豊富な実績がある。手術前に歯科用CTで検査、ランドマーカー・ダイレクトシステムで分析、3Dプリンターで原寸大の顎骨の模型を作製、埋入のシミュレーションを経て、患者に適した手術計画書を示しながら説明し、患者の疑問に答え、きめ細やかに対応する。

健康面や審美性に配慮した治療
患者が歯の無い状態で過ごす事を極力防ぐため、必要に応じて「即時義歯(保険適応)」を採用。「歯を抜いたその日に食事ができる」と好評。近年、健康面や審美性から「白い歯」の希望者も増加しており、ノンメタル(非金属・セラミック)素材を多用、ホワイトニングでも歯のエナメル質を傷めない方法をとっている。
歯を失う大きな原因となる歯周病の治療にも力を入れている。健康保険が適用できる漢方薬も使い、多角的なアプローチで患者に満足感を得られる診療に努めている。メールや院長直通電話 0144(32)2239、平日19:20時以降で無料相談(不在時は休止)も受け付けており、HPに診療日カレンダーも掲載しており、ネット専門サイトでも高評価を受けている。

大町歯科加藤医院

☎(0144)32-2209



苫小牧市大町2丁目4番6号

←ホームページはこちらから

歯科

診療時間/
平日/9:00~12:30 14:00~18:30

(受付は17:30まで)

土曜/9:00~13:30

(学会・会議のため休診あり)

*予約制

休診日/日・祝日・原則第2、第4木曜日午後

